

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部(上下水道局)
	27003	能褒野都市下水路整備事業	室名	下水道室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	会計	01:一般会計
	基本施策	07:上下水道の整備	款	08:土木費
	施策の方向	02:生活排水対策の推進	項目	04:都市計画費
	戦略プロジェクト	-	目	04:都市下水路費
事業予定期間	H 27 ~ H 28 年度		主な根拠法令要綱等	下水道法、都市計画法

② 目的・概要	対象	能褒野地区住民
	目的	集中豪雨等により浸水被害を出している能褒野都市下水路を改修し、都市機能を浸水被害から守る。
概要	水路改修	L=100m

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	事業認可計画		都市下水路改修 L=100m	
	用地買収	A=80㎡		
	計画額	事業費	7,800千円	43,500千円
		国庫支出金	1,000千円	21,750千円
		県支出金		
		地方債		
		その他		
	一般財源	6,800千円	21,750千円	
	予算額	事業費	7,750千円	41,162千円
		国庫支出金	2,700千円	20,581千円
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	5,050千円	20,581千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		51,300千円	期間外事業費(H29以降)②	0千円
		総事業費 (①+②)		51,300千円

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)		
①	名称	整備延長				
	補足	都市下水路の整備済延長 (名越7号線道路改良工事にてL=135m整備済)	活動	計画値	135	235
②	名称					
	補足					
③	名称					
	補足					
④	名称					
	補足					

事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部(上下水道局)
	27003	能褒野都市下水路整備事業	室名	下水道室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財 会計	01:一般会計
	基本施策	07:上下水道の整備	務 款	08:土木費
施策体系	施策の方向	02:生活排水対策の推進	科 項	04:都市計画費
	戦略プロジェクト	-	目 目	04:都市下水路費

② 目的・概要	対象	能褒野地区住民
	目的	集中豪雨等により浸水被害を出している能褒野都市下水路を改修し、都市機能を浸水被害から守る。
概要	水路改修 L=100m	

		27年度	28年度
①	名称	整備延長	計画値 135
	補足	都市下水路の整備済延長 (名越7号線道路改良工事にてL=135m整備済)	実績値 135
			単位 m
②	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績					
都市下水路改修 L=100m				都市下水路改修 L=100m					
④ 事業の計画・実績	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	3,662	平均給与額×③	
		事業費	43,500	41,162		41,162	一般職員人件費 ②		3,662
		国庫支出金	21,750	20,581		20,581	所要人員 ③		0.50
		県支出金		0			臨時職員人件費 ④	0	
		地方債		0			受益者負担額 ⑤		
		その他		0			受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源	21,750	20,581		20,581			
	再掲	翌年度への繰越額							
		前年度からの繰越額		0					
		総人件費		①	3,662				
	総コスト		⑥	44,824					

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	事業調整を円滑に進め、計画どおり事業を完了することができ、能褒野地区の浸水被害の軽減に寄与した。	総合判定
			A
			順調に進んだ
	【反省点・課題】	当事業については完了し、能褒野地区での浸水被害の軽減は図ることができたが、市内で浸水被害が発生している水路はまだ数箇所あり、今後はそれらの事業化に取り組む必要がある。	
	【改善の方向性】	市内他箇所が発生している浸水被害対策の事業化を目指す。	
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 下水道室長 松永 政司